川を知る

©岐阜県

❶ 上流の雨

今いる場所は晴れていても、上流や流域の大雨で、一気に川の水が増え、水位が上がることがあるよ。急に川の水がにごってきたり、枝や落ち葉が流れてきたら、すぐに川から出よう。上流部や山の近くでは鉄砲水にも注意が必要だよ。

❷ ダム

上流にダムのある川では、放流による増水に注意してね。事前に放流情報を確認し、川岸で遊んでいるときは常に放流予告のサイレンに耳を傾けよう。また、急に増水するところではぜったいに子どもだけで遊ばないで!

下呂市・飛騨川

注意喚起標識

❸ 水際に生い茂る草

草で見通しが悪い場所では、川に落ちる、すべって転ぶなどの危険があるよ。

❹ 川ぞこに岩などの障害物が多く流れの速い瀬

流れの中で立とうとしたり、川ぞこに足を向けたりすると、岩のすきまに足をはさまれる危険があるよ。

❺ 浮き石

うっかり足をのせるとバランスをくずすことがあるよ。

❻ 河原

植物のない河原は、雨などで川の水が増えると浸水する可能性があるよ。

❼ 中州

川の水が増えると水没する可能性があり、とりのこされてしまうので注意してね。

美濃市・板取川

❽ 水面がわき上がっている流れ

強い流れが川ぞこの岩にぶつかりわき上がった流れのことだよ。大きなものはうずもたっているよ。

岐阜市・長良川 千鳥橋上流

❾ おだやかな流れ

関市・長良川　池尻地区

一見おだやかに見える流れも、川ぞこの影響で流水は一定ではないんだよ。川の事故の約90%はこのおだやかな流れで発生しているよ。近寄る際はライフジャケットを必ず着用しよう!

❿ 水制・橋脚・床止めなどの人工構造物

【水制】

ていぼうを守るためにコンクリートブロックが並べてあるところがあるよ。すきまに、はさまれたり、すいこまれたりすることがあるのでぜったいに近づかないで!

【床止工(護床工)】

川ぞこを守るために、川ぞこにコンクリートブロックが並べられていることがあるよ。すきまに、はさまれたり、強い流れに引き込まれたりすることがあるのでぜったいに近づかないで!

【橋・橋脚】

橋からはぜったいに飛び込まないで!

橋脚の近くでは、うずにまきこまれることがあるのでぜったいに近づかないで!

【取水口】

農業用水、発電用水などの取水口(取水堰の近くにある)のそばは、流れがはやく、すいこまれることがあるのでぜったいに近づかないで!

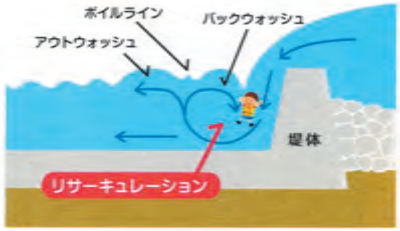
⓫ 堰堤

堰堤の直下流では、上流方向の強力な反転する流れ(リサーキュレーション)が発生し、写真のように横断して設置されている場合は、この中に入るとおぼれることがあるのでぜったいに近づかないで!

堰堤：揖斐川町・粕川

【リサーキュレーション】

川を横断するように設置されている堰堤の直下流では、越流した流れが上流側に反転する流れ(循環流=リサーキュレーション)となり、ここに捕捉されると脱出が非常に難しくなるんだよ。



水制：下呂市・小坂川

床止工：高山市・荒城川

橋：美濃市・長良川 美濃橋

橋：岐阜市、関市・武儀川 千疋橋

取水堰：飛騨市・宮川 大久古堰

参考・出典:公益財団法人河川財団発行「水辺の安全ハンドブック」